

令和7年度第1回琴浦町総合教育会議

会議の概要

日時	令和7年8月26日(火)15:00~16:20
場所	琴浦町生涯学習センター
出席委員	福本まり子町長、田邊正博副町長 河原裕司教育長
説明等のため出席した者	森田澄恵委員、黒松悟司委員、鍛川智恵委員、吉川公一委員 桑本教育総務課長兼学校給食センター長、山根社会教育課長 三好人権・同和教育課長
傍聴人	住吉教育総務課長補佐 なし

日程

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 教育大綱の改定について
 - (2) その他
- 4 閉会

会議の要旨

教育総務課長	(開会) 15:00 令和7年度第1回琴浦町総合教育会議を開会します。
町長	(町長あいさつ)
教育長	(教育長あいさつ)
町長	それでは、協議事項に移ります。 「教育大綱の改定について」担当課より説明をお願いします。
担当者	(資料により説明)
各課長	(具体的事業等の補足説明)
町長	教育委員より意見をいただければと思います。
教育委員	琴浦町に育ってよかったと思える子どもたちが、これから社会に出ていく、ここに住まなくても、帰ってきたいなとか気持ちが落ち着くなどという地域を大切に学習を小さいうちから積み上げていく、このことを1にあげてある点がよいと思います。具体的な内容は記載がありませんが、大綱であり、ここから積み上げたり、変わっていくこともあると思いますので、このかたちでよいと考えます。基本目標である「ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開」も、これは子どもだけではなく、地域に住む人も含めたものと思っております。
町長	齋尾廃寺跡の今後の展開については、どうですか。

教育長

まだ、再調査をしている段階です。今後、総括報告書の作成にかかります。齋尾廃寺跡の価値や課題を整理した上での活用であり、すぐに活用できるものにはならないと思っています。

教育委員

町民の方でも関心のない方はあります。まずは、どういう遺跡なのかを知ってもらうことに注力していくのがよいかと思います。

教育長

様々な文化財など価値のあるものが琴浦町には眠っているといます。以前、神崎神社が注目されたように、これから日が当たるような文化財もあると思います。その資源をまず保護していくことが重要で、その後に公開と活用となります。そういった活動をしている団体を支援していく方向性はよいと考えます。

教育委員

子どもたちも遺跡について学校の授業としてきています。これが町内の小学校に広がればよいと思います。

副町長

教育大綱は、行政が目指すべき方向性として持つものではありませんが、私は子どもたちに対してメッセージとして示すものと捉えています。こうなってほしいという思いがメッセージとして子どもたちに伝わってほしいと思っています。

例えば、グローバル社会で活躍できる人材の育成では、語学や文化を勉強しますが、自分の生い立ちやアイデンティティに自信の持てる教育が日本に浸透していけばよいと思いました。一人ひとりに応じたきめ細やかな教育支援では、身体が不自由な子どもたちが取り残されることのない環境になっていく必要があると思っています。

教育委員

教育自体は、子どもたちが大きなターゲットと考えますが、基本目標に「子どもも大人も地域の一員として」とあり、大人の学びも含んだものと捉えるべきです。教育環境の適正管理に関しては、子どもに限定するのではなく、町民全体の教育環境整備にしてはどうかと思います。

教育委員

前回の教育大綱の方が、誰一人取り残さないというフレーズが、学校だけじゃなくて、町民全体を含んだ形になっていたように思います。

3では学校教育について誰一人取り残さないとありますが、学校だけでなく、学校以外の地域を含めた形がよいと思いました。

教育委員

教育委員になってから、教育委員会は、学校教育のことだけでなく、社会教育にも関わっていることが分かりました。子どもも大人も、誰一人取り残さない教育をすすめて、町民全体が網羅できるように、表現を大事にしてほしいです。また、ひきつづき、ふるさと教育に力をいれていただきたい。主体的に考える力、とても大事な部分と考えています。

教育委員

子どもも大人も地域の一員として地域を大切にする心を培います。と主眼を置くのであれば、学習環境については、子どもに限定するのはどうかと思います。大人も含めて誰一人取り残さないという方針も必要と思います。4に含まれていると思いますが、ちょっとした表現で、上手く合致するとよいと思います。

また、4-①であらゆる人権課題の解消（解決）とありますが、解消と解決は意味が少し違ってくると思います。私の願いとしては、やはり解決

町長
人権・同和教育課長
教育長

へと持って行ってほしいと考えています。
括弧書きはやめたほうがよいと思います。
解決に統一します。

2-③については、安心安全な教育環境整備のためとして、学校施設と給食センターだけでなく、図書館や公民館についても加えると、社会教育の視点も入っているとすぐにわかると思います。また、最後の結び部分も、改修工事を進めますではなく、機能設備の向上に努めますとしたほうがよいと皆さんの意見を聞いて思いました。

3については、学校教育のことに特化していると思いましたが、最初は、質の高い学校教育としたほうがよいかと感じました。教育委員の皆さんの意見や副町長の話聞きながら、大人の部分も内包する内容とするのであれば、3-①②③については、大人の教育部分も盛り込んだほうがよいかと思いました。

教育委員

4-①については、解決という言葉を用いたほうがよいと思います。
私は、3で子どもたちについて焦点化していくこと自体はよいと思います。大人の部分は、4で反映されているのではないのでしょうか。子どもがどういった環境や状況になっても学ぶ場が保証され、どのような子どもになってほしいかという願いがここに集約されているように思います。

教育委員

私も同意見です。3はこのままでもよいと思います。学校教育の分野がここに集約されてる形と思っています。

町長

誰一人取り残さないという表現は教育だけでなく幅が広いものです。具体的にどのような人を対象とするのか、教育分野で限定したほうがよいかもしれません。

教育長

2-③は、子どもだけではなく、大人も視野に入れた表現に変更したほうがよいです。3については、誰一人取り残さない質の高い学校教育の実現でよいと思います。4-①は、解決に向けてと修正してはいかがでしょうか。

副町長

3を学校教育とするのであれば、他のところのメッセージは、またそれとは違うというのがわかりやすいと思います。

教育委員

2-②は、地域とともにある学校だけでなく、学校と共にある地域という表現もすれば、両方が相互作用で互いに育っていけるのかなと思います。

教育委員

3は、誰一人取り残さない質の高い学校教育の実現ではなく、推進としたほうがよいです。

町長

学校の中に居場所のない子どもへの取り組みが見えてこない。また、質の高い教育っていうのに抵抗を感じる部分もある。

教育長

誰一人取り残さない学校教育の推進でもよいのではないのでしょうか。公平な教育という印象を受けます。

教育長

皆さんの意見を踏まえて、再度案を作成し、次の教育委員会で委員より意見をいただいて、最終的には町長にて決定する形でいかがでしょうか。

教育委員

(了承)

町長

町内には外国籍の子どももいます。その子にとってのふるさと、アイデ

ンティティは、琴浦だけではないものです。この部分も表現としてほしい
と思います。

教育長

今日は、本当にありがとうございました。様々な思いがあったかと思
いますが、次の教育委員会で協議をしたいと思います。

教育総務課長

以上で総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。
(閉会) 16 : 20